

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	山留め設計小委員会		主 査 名：桂 豊 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 仮設構造運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：宮崎祐助
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2004 年度に終了した特殊設計検討小委員会での成果と残された課題を踏まえ、改めて安全性と経済性および環境への適合の総合的観点から山留めにおける設計法の現状と課題を見直し、今後の方向性に対する考え方と課題を検討する。 初年度：今後の方向性と課題の検討・整理、活動計画作成、文献調査 2 年度：課題の具体的検討 3 年度：検討および検討結果の取り纏めと報告書の作成 成果の公表方法の検討 (2008 年度 PD またはシンポジウムを予定)		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 桂豊(清水建設) 青木雅路(竹中工務店) 石井雄輔(大林組) 石井善一(大成建設) 石川明(清水建設) 伊勢本昇昭(戸田建設) 大西靖和(エルメス計測) 佐々木俊平(東京都) 佐竹啓一(ジェコス) 佐藤英二(竹中工務店) 清水孝昭(竹中工務店) 清広歳(大林組) 田中俊平(鹿島建設) 野田和政(前田建設工業) 宮崎祐助(広島工大)		
設置 WG (WG 名：目的)	山留め解析WG：山留め解析上の課題深掘りと梁バネモデルにおける対応策検討 山留め計画WG：計画立案上の多様化した課題の系統立てた整理と今後の対応法検討 近接施工対策WG：山留め工事が周辺に及ぼす影響検討 地下水・環境WG：山留めにおける地下水対策と周辺環境に及ぼす影響検討		
2006 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	小委員会 4 回(年度内計画を含む)、WG 活動が主(4 つの WG 平均 9 回開催)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 各 WG 関連既往文献を整理し、課題の深掘り (100%) 2. 各 WG 課題に対する対応方法の検討 (80%) 3. 工事に伴う地下水・環境について実態調査(アンケート)、課題と対応分析 (90%) 4. 小委員会勉強会実施(見えてきた東京の地下構造; 話題提供東京都中山氏)(100%)
委員会活動の問題点・課題	